

編集後記

第3巻の締めくり号の発行日が迫ってきた。全国的に今年は記録やぶりの猛暑の夏休み後であったためか、秋の学術集会が一時的に集中してしまっていたためなのか、いつもと比べて投稿論文の集まり具合が遅かった。そんな訳で本号では原著2編と症例報告1編をもって編集することになりました。

第3巻では、とくに会員からのご投稿論文だけでなく本会機関誌としての使命を担って1号誌位は前むきな編集企画をもち、特集記事を盛ってみようという編集委員会の新しい試みをもつことでした。幸いに、関係者のご熱意とご協力を戴いて1号といわず、2号においてまで特集を掲載することとなりました。本号に

掲げてある第3巻総目次をご覧になり、その足跡をみて思いおこしていただければ幸いです。おかげで会員の方々からは、励げましのお言葉をたくさん戴いたことは有難かった。次巻においても会員の方々のご希望をも頂戴して取り組んでいきたいものです。

本号はいくばくか雑誌そのものの頁数がすくないものとなったが、限られた予算執行の中では、前2号誌における印刷経費や郵送料の調整役をはたしているのではないかと思われませんが、決してそんなご心配は会員の方々はおもちにならずに、どしどしご投稿をしていただきたいものです。

(53. 10. 20. 石川 富士郎)

次号誌（第4巻第1号）について

投稿締切 昭和54年1月15日

発行予定日 昭和54年3月15日

本誌261頁の投稿の手引きに従って会員の方々のご投稿をお待ちします。

岩手医科大学歯学会編集委員会